

「令和2年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 9 日

事業名称		教育センター運営費 [スクールカウンセラー配置事業]									
予算科目	款 10	教育費	項 1	教育総務費	目 3	教育指導費	事業番号	16			
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	教育指導		課		指導		係	課長名	小野 隆一		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	1 - 1			
【施策名】 学校教育の充実							総合計画書 (ページ)	31			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 主に市立小・中学校に在籍する児童生徒及びその保護者				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 児童生徒数 →						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 必要なカウンセリングが受けられている。				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) スクールカウンセラーの配置校数(サポートルーム含む) →						
	③ そのために何をしましたか。 様々な問題を抱える児童生徒及びその保護者等の相談を受け、適切なカウンセリングを実施することで、問題解決を図る取組を行っている。また、担任や生活指導担当の教員の相談にも適切に対応している。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 相談件数 →						
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標			
	対象指標	①の数値	人	6,562	6,556	6,427					
	成果指標	②の数値	校		16 (サポ-トルム含む)	16 (サポ-トルム含む)					
	目 標	②の目標値									
3 経費	事業費(実績)		円	8,467,987	10,247,367	10,807,954	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、 8,380,000円 時間単価は、 4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	8,467,987	10,247,367	10,807,954					
		特定財源(国・都・他)	円								
		(うち受益者負担)	円								
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.02	0.02	0.02					
		所要人数(再任用)	人								
		職員人件費(再任用以外)	円	164,880	166,200	167,600					
		職員人件費(再任用)	円								
事業費+人件費		円	8,632,867	10,413,567	10,975,554						
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成8 年度								
	(2) 環境の変化										

事業名称	教育センター運営費 [スクールカウンセラー配置事業]			
担当部署・課長名	教育指導	課	指導	係 課長名 小野 隆一

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ	取組手法：		
	☒ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 子育て支援担当、生活福祉担当や児童相談所等の外部機関と情報の共有化を図り、連携を強化することで、問題を抱える児童生徒及びその保護者への支援体制を充実させる。 継続的な支援体制を整えるため、同学校区の小中学校には同一のカウンセラーを配置できるよう配慮する。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。			
	毎年、退職者が多く、同一のカウンセラーによる継続的な支援が難しい。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
	市内全小・中学校に配置した。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
	施策名： 学校教育の充実 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	専門的な知識を有する人材の確保。			